



STEP BY STEP

～ 自立 行動 協働 ～

射水市立新湊中学校

第2学年 学年だより

2026年10月9日 10月号

❖ 社会に学び、自分の成長につなげた「14歳の挑戦」❖

9月24日・25日・28日・29日・30日の5日間、「14歳の挑戦」を実施しました。生徒たちは、それぞれの事業所で仕事を体験し、働くことや地域の人々との関わりについて学びました。

学校とは異なる環境で過ごす5日間は、仕事内容を覚えるだけでなく、挨拶や返事、時間を守ること、相手の話をしっかり聞くことなど、日頃の生活で大切にしていることを実践する機会にもなりました。また、分からないことを自ら尋ねたり、周囲の様子を見て自分にできることを考えたりすることの大切さを学ぶ機会にもなりました。

体験を振り返る際には、できるようになったことや難しかったことに加え、事業所の方々がどのような思いで仕事に取り組んでいたかにも目を向けています。一つ一つの仕事が誰かの生活を支え、地域につながっていることを考えながら、今回の経験をこれからの学校生活や自分の将来に生かしてほしいと思います。

お忙しい中、生徒たちを受け入れ、ご指導くださった事業所の皆様、健康管理や毎日の準備などを支えてくださった保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。



学習発表会に向けて ― 学びを次の活動へ

現在、10月31日（土）の学習発表会に向け、金沢校外学習と「14歳の挑戦」で得た学びを整理しています。

それぞれの体験で見つけた地域の魅力や、人々の工夫・思いを振り返り、「新湊をよりよくするために生かせるヒントは何か」「自分たちにできることは何か」を考えています。仲間と気付きを共有しながら、これから取り組みたい活動と、その理由をまとめているところです。

学習発表会では、体験を通して学んだことと、そこから考えた今後の活動について発表します。生徒たちが学びをどのように次の一步につなげようとしているのか、ぜひご覧ください。

高校入試に向けて、少しずつ準備を

高校入試に向け、これまでの学習内容を復習し、基礎・基本を定着させるためのテキスト学習に取り組んでいきます。教材にはそれぞれ特徴があり、自分の理解度や学習の進め方に合うものを選ぶことが大切です。

教材	主な特徴
新研究（新学社）	解説と問題が充実し、基礎から入試問題まで幅広く復習できます。
スタプロ（新学社）	自分の力に合ったレベルを選び、段階的に学習を進められます。
シュートク（明治図書）	基礎の確認から実戦まで、習熟度に合ったコースを選べます。
整理と対策（明治図書）	基礎・基本を整理してから、入試問題の対策へ進みます。
整理と研究（あかつき）	要点の整理と段階別の問題を通して、理解を確かめながら進められます。

生徒には、日頃から教材を手に取り、問題の難しさや解説の分かりやすさなどを確認するよう伝えています。学習発表会当日には教材を展示しますので、保護者の皆様もぜひご覧ください。ご家庭でも、これからの学習の進め方や自分に合った教材について話し合っていただければと思います。

生徒・保護者の皆さまへ

10月19日（月）・20日（火）に、2学期中間考査を実施します。生徒の皆さんは、これまでの学習を振り返り、計画的に準備を進めていきましょう。提出物を仕上げるだけでなく、分からないところを確かめ、解き直すことも大切です。保護者の皆さまには、ご家庭での励ましや、落ち着いて学習できる環境づくりへのご協力をお願いいたします。

また、10月31日（土）には、学習発表会を開催します。生徒の皆さんは、日頃の学習で得た気付きや考えを、自分たちの言葉で伝えましょう。仲間と協力して準備を進め、一人一人の力を生かした発表を期待しています。保護者の皆さまも、ぜひご来校いただき、生徒たちの学習の成果と成長をご覧ください。

こうした学習や行事への取組を通して、自分で考え、行動し、仲間と協力する力を伸ばしてほしいと思います。後期のスタートも近づき、2年生が学校の中心となって活動する場面が増えていきます。大切なのは、役職に就く人だけでなく、一人一人が「自分も学校をつくる一員だ」という気持ちをもつことです。日々の生活では、自分の言動が相手にどう伝わるかを十分に考えられず、トラブルにつながることもあります。成長する上で大切なのは、失敗や行き違いがあったときに、自分の行動を振り返り、次にどうすればよいかを考えることです。相手の言動に気になる点があった場合も、それと併せて、自分の言動にも目を向ける姿勢を育てていきたいと考えています。

保護者の皆さまには、お子さんの気持ちを受け止めながら、「相手はどう感じたのか」「自分にできたことはなかったか」と、一緒に考えていただければと思います。自分のよくなかった点を認め、謝ったり、行動を改めたりすることも大切な成長です。学校と家庭で協力しながら、自分の行動に責任をもち、仲間とよりよい関係を築く力を育てていきたいと思っています。